

事業名	家庭教育推進事業費			調査番号	107
細事業名	幼児教育放送「子育て日記」放映事業費	財務コード	1596-03		
担当部課室	教育庁 部 社会教育 課 成人・家庭教育 担当 (内線)		8365		

事業の概要

実施期間	始期 H11 年度 ~ 終期 - 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 乳幼児期から小学校低学年の子どもを持つ保護者	その対象をどのような状態にして 家庭教育に関するタイムリーな情報を、メディアを利用し得ることができる	結果、何に結びつけるのか 育児の悩みや不安が解消され、家庭教育力が充実している
	内容 放送/7月から12月まで 毎週日曜日 午前11:45~12:00 YBSテレビ 各回のテーマ/ 赤ちゃんの成長と五感(発育曲線), 食べる力のある子, 遊びと教えるコツ(親子で運動), 自己主張と感情のコントロール, 気になる個性, 上の子の気持ち, 言葉の発達と言葉かけ, こんなこともできないの? ~親がしてはいけないこと, 友達の中で育つ, 私ってダメなママ? 皆で"いいこと"探し, 家族で子育て(孫育), ママ・パパになってよかった~子育てを楽しむヒント 各回の本放送終了後、番組公式WEBサイトで視聴可		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	放送回数 ・年間12本作成/放送は、本放送12回、再放送12回 計24回	目標 24	24	24	24	24	24	24
		実績(見込) 24	24	24	24	24	24	
		達成率 100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
		達成区分 b	b	b	b	b	b	
成果指標	番組の有益性(全ての視聴対象者が「大変役に立っている」または「役に立っている」と回答した割合)	目標 50	55.0	55.0	55.0	60.0	60.0	60.0
		実績(見込) 53.0	53.0	51.3	58.1	57.6	60.0	
		達成率 106.0%	96.4%	93.3%	105.6%	96.0%	100.0%	
		達成区分 b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		8,351	8,351	8,589	8,589	8,589	8,589	9,548

事業の評価(平成28年度の業績評価)

活動指標	b	評価	目標放送回数を予定どおり放映。
成果指標	b		アンケートにおいて「大変役に立っている」、「役に立っている」と回答した割合が年々増加傾向にある

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	現代の孤立しがちな若い親たちにとって、テレビというメディアを利用した情報提供は、家庭にいながら学習できる機会の創出であり、視覚的で、分かりやすくタイムリーな情報を、継続的に得ることができる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他( )
	説明	
見直しの必要性	有	より効果的な番組内容となるよう、市町村等との連携を図るなど地域に密着した情報提供をする工夫を行い、番組に対して関心を持ってもらう。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

他事業と統合	説明	父親の子育て参加支援事業費と統合し、PTA関係の代表者の番組運営会議への参画を得る工夫をすることなどにより、家庭教育のより効果的な促進を図っていく。
--------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」、「一部廃止」、「終期設定」、「休止」、「他事業と統合」、「縮小」、「拡大」、「実施方法等の変更」、「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。